

SV2電動式病院用ベッド

操作マニュアル

REF 7500

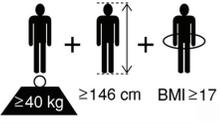


CE

JA

記号

	取扱説明書/小冊子を参照
	操作方法/使用説明書を参照
	一般的な警告
	注意
	警告：手を挟む危険性
	警告；足を挟む危険性
	リフトポールを差し込まないでください
	ヘッドボードおよびフットボードの方向
	ベッドの下に物を置かないでください。
	膝上げ部の位置調整
	カタログ番号
	シリアル番号
	欧州医療機器
	欧州共同体の正規代理店
	スイスの正規代理店
	CEマーク
	英国適合性評価マーク
	輸入者

	機器固有識別子
	製造業者
	製造日
	安全使用荷重での機器の質量
	安全使用荷重
	患者の体重 最大値
	成人患者 $\geq 40 \text{ kg}$ $\geq 146 \text{ cm}$ $\text{BMI} \geq 17$
	直流
	交流
	危険電圧
	本製品には、等電位導体の接続端子が付いています。等電位導体は、本製品と電気設備の等電位化母線とを直接接続するものです。
	保護接地端子
IPX4	液体飛沫からの防護
	B形装着部
	この記号は、廃電気電子機器 (WEEE) に関する欧州指令2012/19/EUの改正に従って、リサイクルのため本製品を分別回収しなければならないことを示しています。未分類の都市廃棄物として廃棄しないでください。廃棄に関する情報についてはお近くの代理店にお問い合わせください。汚染された機器は、リサイクルする前に必ず除染してください。

目次

警告/注意/注記の定義	2
安全に関する注意事項の概要	3
ピンチポイント	6
はじめに	7
製品説明	7
適応	7
臨床的有用性	8
禁忌	8
予想耐用年数	8
廃棄/リサイクル	8
仕様	8
製品図示	11
適合部品	12
連絡先	12
シリアル番号の位置	13
セットアップ	14
動作時	15
バッテリーケーブルのプラグを差し込む、または抜き取る	15
本製品の電源プラグを差し込む、または抜く	16
バッテリーの充電	16
バッテリーを長期間保管する	16
電源コードを保管する	17
製品を移動する	17
ブレーキをかけるまたは解除する	19
ステアリングロックをかけるまたは解除する	20
第5輪をかけるまたは解除する (オプション)	21
心肺蘇生用リリースを起動および再設定する	22
ヘッドボードの取り外しまたは交換	22
フットボードの取り外しまたは交換	23
下脚部の上げ下げ	24
サイドレールの昇降	25
ナースコントロールパネル (サイドレールの外側) (オプション)	25
患者コントロールパネル (サイドレールの内側) (オプション)	27
患者用コントロールペンダント (オプション)	28
ナース用コントロールペンダント	29
ベッド延長器 (オプション) を延ばす	31
ベッド延長器補助マットレスを取り付ける	31
リネントレー (オプション) を延ばす、または格納する	32
X線カセットホルダー (オプション) にカセットを挿入する、または取り出す	32
付属品と部品	34
点滴ポールを取り付ける	34
点滴ポールを調整する	35
リフトポールを取り付ける	35
リフトポールのハンドルを取り付ける	36
酸素ボンベホルダーを取り付ける	36
尿バッグ用バスケットを取り付ける	37
洗浄	39
製品洗浄の準備を行う	39
クリーニング	39
サイドレールを清掃する	40
消毒	41
予防保守	42
EMCに関する情報	44

警告/注意/注記の定義

警告、注意、および注記は特別な意味を持つため、慎重に確認してください。

警告

回避しなければ死亡や重大な人身事故につながり得る状況について、読む人に注意をうながします。また重篤な有害作用の可能性および安全上の問題についても記述することがあります。

注意

回避しなければ操作者や患者に対する軽度ないし中等度の負傷、または製品や他の物品の損傷につながり得る状況について、注意をうながします。これには、装置の安全かつ有効な使用に必要な特別な注意や、使用や誤用の結果起こりうる装置への損傷を防ぐために必要な注意が含まれます。

注記 - 特別な情報を提供し、保守を容易にしたり、重要な説明をより分かり易くしたりします。

安全に関する注意事項の概要

必ず本ページに記載されている警告と注意を読んで厳守してください。保守は有資格者のみが行ってください。

警告

- 製品に示される入力電圧および周波数のみを使用してください。
- 製品の機能損傷を防ぐため、必ず製品が室温になってから、設定や機能操作テストを行うようにしてください。
- 明らかな故障、欠陥、不具合、損傷がある場合は、製品を使用しないでください。
- 使用が操作者や患者の怪我を引き起こす場合は、いかなる状況でも製品を使用しないでください。
- すべての操作者が構造から離れている場合にのみ、製品の操作を行ってください。
- 感電のリスクを避けるため、保護接地付き電源に接続してください。
- 絡まり、電源コードの損傷、または潜在的な感電のリスクを回避するために、電源コードは常に保管してください。電源コードが損傷してしまった場合は、製品の使用を中止し、適切なメンテナンス担当者に連絡してください。
- 緊急時に壁の電源コンセントから電源コードを抜けるように、常に製品の頭側端部と近くの壁との間は十分な隙間を空けておいてください。
- 製品を移動させる前に、必ず電源コードを収納してください。
- 電源コードを製品のいかなる部分にも取り付けしないでください。
- 予期しない動作があった場合は、必ず電源コードを抜きメンテナンス担当者に連絡してください。
- ベッドの下に物を置かないでください。
- ボトムカバーなしでベッドを使用しないでください。
- バッテリー、コントロールケーブル、ペンダントが過熱していると気づいたら、必ず電源コードを壁のコンセントから抜いてください。有資格の担当者が点検、保守を行い、意図通りに動作していると確認するまで、製品を使用しないでください。
- 古いバッテリーを開けないでください。
- バッテリーは火の中に投入しないでください。
- バッテリーに液体をこぼしたり、バッテリーを液体に漬けないでください。
- 製品を長期間にわたり保管する時は、必ずコントロールボックスからバッテリーケーブルを取り外してください。
- 患者を移動させる時は常に、仰臥面が一番低い位置にある状態で、サイドレールが一番高い位置にロックしてください。
- 常に四肢、手、指、その他の体の部分が、構造や隙間に入っていないようにします。
- 常に製品の付近に障害物がないことを確認してください。障害物にぶつかった場合、患者、操作者、居合わせた人に対する人身事故や、フレームまたは周囲の機器の損傷を招くことがあります。
- 製品を横方向に動かそうとしないでください。製品の転倒を招くことがあります。
- ブレーキをかけた後で製品を動かさないでください。
- 患者が乗り降りする際は、バランスを崩すことがないように必ずブレーキをかけてください。
- 患者に付き添いがなければ、必ずブレーキをかけてください。
- 心肺蘇生用リリースを起動する前に、背もたれの下または周囲に人や物がないことを必ず確認してください。心肺蘇生用リリースの使用は緊急時に限ります。
- ヘッドボードを交換する時は挟まるのを防ぐため、常にヘッドボードを適切な位置に合わせてください。
- フットボードを交換する際は挟まるのを防ぐため、常にフットボードを適切な位置に合わせてください。
- 下脚部を下げる前に、レッグレストの下または周囲に人や物がないことを必ず確認してください。
- 患者の状況により安全対策がさらに必要な場合を除いて、常にサイドレールをロックしてください。
- 患者に付き添いがなければ、常にサイドレールが一番高い位置にロックしておいてください。
- 患者がベッドから離床するのを防ぐための固定装置としてサイドレールを使用しないでください。操作者が患者の安全を確保するために固定がどの程度必要かを判断する必要があります。
- サイドレールに座らないでください。
- 患者に付き添いがなければ、必ずベッドのモーションコントロールをロックしてください。
- ナース用コントロールペンダントを患者から届く範囲に絶対に置かないでください。
- ベッド延長器の上にすわらないでください。製品の転倒を招くことがあります。
- ベッド延長器に体重をかける前に、必ずベッド延長器をロックします。
- 製品を動かす前に、リネントレー（オプション）を必ず格納してください。
- 使用していないときは、リネントレー（オプション）を必ず格納してください。

- 放射線透過性の背もたれ（オプション）が備わっていない場合は、製品をX線処置には使用しないでください。
- 患者の四肢や体の他の部分を支えるために、付属品を使用しないでください。
- 製品の使用中は、洗浄、保守、メンテナンスを行わないでください。
- 清掃、保守、メンテナンスの実施前に必ず電源を切り、電源コードを抜いてください。
- サーキットボード、ケーブル、モーターの近くで大量に液体がこぼれた場合は、必ず製品の電源を切り、電源コードを壁のアウトレットから抜いてください。ベッドから患者を移動させて液体を掃除し、保守担当者に製品の点検を行ってもらいます。液体は、電気製品の予期しない動作や機能性の低下を引き起こすことがあります。ベッドが完全に乾き、安全な操作が可能なが十分なテストで証明されるまでは、絶対に製品の使用を再開しないでください。
- バッテリー、コントロールボックス、アクチュエーター、ケーブル、その他の電気機器に洗浄液を直接噴霧しないでください。
- 研磨剤、スチールウール、または製品の表面を傷つける可能性がある同様のものを使わないでください。
- 製品の消毒にVirex® TBを使用しないでください。
- ガソリン、ディーゼル、アセトンなど、清掃の目的で酸塩基または可燃性の薬品を使用しないでください。
- サイドレールコントロールパネル、患者用コントロールペンダント、ナース用コントロールペンダントに洗浄剤を直接噴霧したり、染みこませないでください。
- 洗浄剤や消毒剤は、高いアルカリ性または酸性であってはなりません（pH値6~8でなければなりません）。
- サイドレールコントロールパネルを鋭利なものを使って清掃しないでください。
- 製品の洗浄にVirex® TBを使用しないでください。

注意

- 製品の不適切な使用により、患者または介助者が負傷する可能性があります。製品は、本書に記載されているとおりにのみ操作してください。
- 製品または製品の部品を改造しないでください。製品を改造すると、予測不可能な動作の原因となり患者や介助者が負傷する可能性があります。また、製品を改造すると保証が無効になります。
- 電磁的な干渉のリスクを小さくするために、製品はIEC 60601-1-2規格に準拠して設計されています。問題を回避するため、本操作マニュアルのEMCセクションで説明されるEMC/EMI要件に従いベッドを使用してください。
- アンテナケーブルや外部アンテナなどの周辺機器を含め、移動式RF無線機器をSV2（製造業者が指定するケーブルを含む）から30 cm（12インチ）以内の距離で使用しないでください。これに従わないと、本装置の性能が劣化する可能性があります。
- 製品の誤作動を防ぐため、本機器を他の機器の近くでまたは他の機器と重ねて使用しないでください。このようにして使用する必要がある場合は、本機器およびその他の機器を注意深く観察して、それらの機器が適切に作動していることを確認してください。
- 本機器の製造業者が指定または供給するもの以外の付属品、トランスデューサーおよびケーブルを使用すると、電磁干渉の上昇や電磁免疫性の低下が生じ、その結果誤作動が起こる可能性があります。
- 製品の隙間に物を入れないでください。
- バッテリー使用で操作する際の製品性能を最大限に高めるため、未使用時にベッドのプラグを壁コンセント（調整交流電源）につないでバッテリーの充電を維持する必要があります。
- バッテリー端子の腐食や亀裂、側面の拡大や膨らみがある場合、あるいはフル充電を維持することができなくなった場合には、必ず電池を交換してください。
- バッテリーを交換する際には、認定されたバッテリーのみを使用してください。認定されていないバッテリーを使用すると、予測できないシステム動作を引き起こす可能性があります。
- 製品の上に重いものを載せたり置かないでください。
- ベッドフレームで電源コードを押さえつけたり、挟まないようにしてください。
- サイドレールを押したり引いたりするための器具として使用しないでください。ベッドを動かすときは常にヘッドボードおよびフットボードと一体型のハンドルを使用してください。
- 製品を移動させる前に患者のリフトポールを必ず取り外してください。
- 点滴ポールを押ししたり引いたりするための道具として使用しないでください。
- 移動中は、点滴ポールが低い位置にあることを必ず確認してください。
- 予期せぬ動きを防ぐため、必ずブレーキをかけてください。
- 製品の動きを停止するためにブレーキをかけないでください。
- フットボードを取り外す前に、必ずナース用コントロールペンダントを足側端部のサイドレールまたはリネントレー（オプション）にかけます。
- ベッド延長器の使用中に、下脚部を上げないでください。これは、製品が長身の患者の下脚を支えないような状況を防ぐためです。

- サイドレールを使用してベッドを動かさないでください。ベッドを動かすときは常にヘッドボードおよびフットボードと一体型のハンドルを使用してください。
 - 患者用コントロールペンダントは、ペンダント使用時には必ずマットレスの上に安全に置いてください。
 - 患者用コントロールペンダントは、ペンダント不使用時には必ずサイドレールの上にかけてください。
 - ベッドフレームでペンダントコードを押さえつけたり、挟まないようにしてください。
 - ナース用コントロールペンダントは、必ずフットボードに置いてください。
 - フットボードを取り外す前に、必ずナース用コントロールペンダントを足側端部のサイドレールにかけるか、リネントレー（オプション）に収納します。
 - ペンダントケーブルをベッドフレームで押さえつけたり挟まないようにしてください。
 - ベッド延長器を延ばした後でフットボードを取り外さないでください。
 - リネントレーの定格荷重は15 kgです。
 - 製品に認められた付属品のみを使用してください。認められていない付属品を使用すると、製品の損傷や、使用者もしくは患者の怪我につながる可能性があります。Strykerは、製品の不適切な使用または認められていない付属品を使用したことに起因する損傷や怪我についての責任は一切負いません。
 - 付属品が所定の位置に固定されていることを必ず確認してください。
 - 付属品が、製品の機械的または電気的構造に干渉しないようにしてください。
 - 製品を移動させる前にリフトポールを必ず取り外してください。
 - リフトポールを押したり引いたりするための道具として使用しないでください。
 - 酸素ポンベホルダーを押したり引いたりするための道具として使用しないでください。
 - 患者を移動させる前に、必ず酸素ポンベホルダーをベッド側に入れてください。
 - 患者を移動させる際に、酸素ポンベホルダーにぶつからないようにしてください。
 - 酸素ポンベホルダーに、7.5 kgの安全使用荷重を超える荷重をかけないでください。
 - 尿バッグ用フックの定格荷重は2 kgです。
 - 製品のいずれの部分も、蒸気洗浄、高圧洗浄、超音波洗浄、または水に浸すことはしないでください。水が触れると内部の電気部品が損傷することがあります。これらの清掃方法は推奨される方法ではなく、製品保証が無効になる場合があります。
 - 必ず清浄水をつけた布で各製品を拭き、洗浄後はしっかりと乾かしてください。洗浄剤の中には腐食性のものもあり、不適切に使用すると製品が損傷する場合があります。適切にすすぎと乾燥を行わないと、製品の表面に腐食性残留物が残り、重要な部品に早発性腐食が生じる恐れがあります。これらの洗浄手順に従わないと保証が無効になる場合があります。
-

ピンチポイント

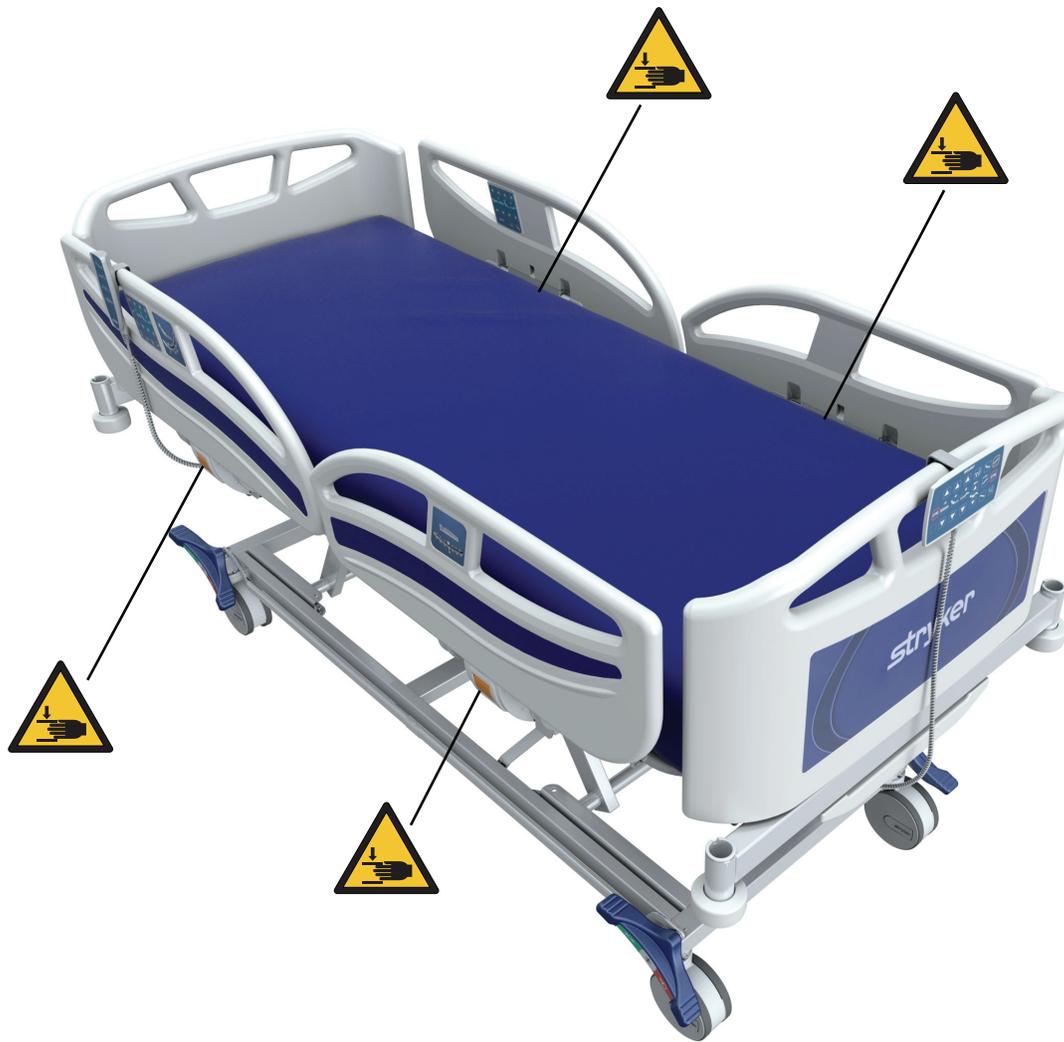


図 1 - SV2ピンチポイント

はじめに

本取扱説明書は、ご使用になるStryker製品を操作または保守を行う際にご覧ください。製品の操作または保守を行う前に、本書を一読してください。製品の安全な操作と保守に関して、スタッフの教育・トレーニング方法および手順を定めてください。

注意

- 製品の不適切な使用により、患者または介助者が負傷する可能性があります。製品は、本書に記載されているとおりにのみ操作してください。
- 製品または製品の部品を改造しないでください。製品を改造すると、予測不可能な動作の原因となり患者や介助者が負傷する可能性があります。また、製品を改造すると保証が無効になります。

注記

- 本書は製品に恒久的に付随するものであるため、今後製品を売却することがあっても製品と一緒に保管しておくことをお勧めします。
- Strykerでは、継続的に製品のデザインと品質において進歩を追求しています。本取扱説明書には、発行時に入手している最新の製品情報が記載されています。ご使用の製品と本取扱説明書の記述に若干の不一致がある場合があります。ご質問がある場合は、Strykerカスタマーサービスまたはテクニカルサポート+1-800-327-0770までお問い合わせください。

製品説明

SV2は、バッテリーバックアップシステムを備えた交流電源のベッドです。SV2は、病院および医療施設において長期間の治療を受ける患者を対象としています。SV2には4つの電動アクチュエーターが搭載されており、心肺蘇生用体位、トレンデレンブルグ位、逆トレンデレンブルグ位、椅子座位など、複数のポジションで使用できます。SV2には、格納できるサイドレール、取り外し可能なヘッドボードおよびフットボードの他、患者の治療を補助するオプションや付属品が備わっています。

SV2は、患者が横たわる面を調整する交流電源アクチュエーターおよび制御が備わった電動機械式の手術室およびICU用ベッドです。患者が横たわる面は、背もたれ、シート、上脚部、下脚部の4つのセクションから構成されます。サイドレールは、頭側端部で2本のサイドレール、足側端部で2本のサイドレールに分かれます。サイドレールは一番高い位置で固定されます。ラッチが外されると、サイドレールは外側に開いて低位置に動きます。

サイドレールコントロールパネル、患者用コントロールペンダント、ナース用コントロールペンダントを使用して、電気機械的機能を作動できます。コントロールボックスは、論理制御と電源から成り、分電ボックスを介して4つのアクチュエーターすべてに電力と制御信号を送ります。サイドレールコントロールパネル、患者用コントロールペンダント、およびナース用コントロールペンダントコントロールは、分電ボックスを介してコントロールボックスが制御しています。

ベッドには、2対のアクチュエーター（合計4つのアクチュエーター）が搭載されています。ボトム表面の下にある1組目のアクチュエーターは、背もたれの上げ下げと上脚部の上げ下げ機能を制御します。車台下部の下側にある2組目のアクチュエーターは、ボトムの上げ下げと、トレンデレンブルグ位、逆トレンデレンブルグ位を制御します。

その他のベッド機構により、マニュアルの心肺蘇生、膝上げ部の調整、ベッドの長さの延長が可能です。ベッドにはさらにキャスターのブレーキとステアリングコントロールが装備されています。キャスターがあるため患者がベッドに乗ったままで、緊急時および非緊急時における院内での移送がしやすくなります。

適応

SV2は、病院ベッドが必要となる手術室およびICU環境での成人患者による使用を意図した製品です。本製品は、患者の仰臥面に使用してください。

本ベッドの操作者は、医療従事者（看護師、看護助手、医師）、保守またはメンテナンス担当者、患者、ベッドの動作機能を使用できるその場にいる人です。

SV2は、病院、施設、診療所を含む、医療、手術および救命救急の環境での使用を想定しています。

SV2ベッドフレーム、ボトム一体型付属品およびマットレスは、皮膚と接触することがあります。

SV2ベッドフレームは、酸素テントとの併用、可燃性麻酔薬がある状況での使用、または一度に複数の患者をサポートすることを意図したものではありません。

臨床的有用性

患者の治療、患者のポジション調整および診断

禁忌

既知の禁忌はありません。

予想耐用年数

通常の使用条件で使用し定期保守を適切に行った場合のSV2の予想耐用期間は10年です。

通常の使用条件で使用した場合のバッテリーの予想耐用期間は1年です。

通常の使用条件で使用した場合のキャスターの予想耐用年数は2年です。

通常の使用条件で使用した場合のオプションの第5輪の予想耐用期間は2年です。

廃棄/リサイクル

環境保護並びに耐用年数を終えた機器のリサイクルまたは廃棄に関するリスクを規定する、現地で施行されている最新の推奨事項および/または規制に必ず従ってください。

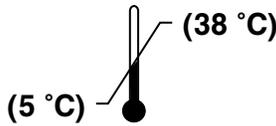
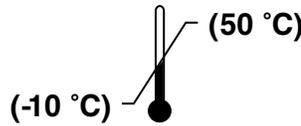
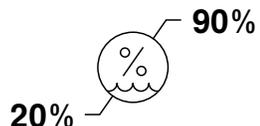
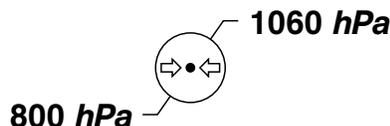
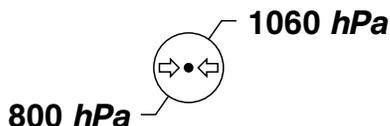
仕様

	安全使用荷重 注記 - 安全作業負荷は、患者、マットレス、付属品の重量の合計を示します。	250 kg
	患者の体重 最大値	215 kg
製品重量		160 kg
製品全体のサイズ	長さ	2200 mm (±10 mm)
	長さ (オプションのベッド延長器を含む)	2510 mm (±10 mm)
	幅	990 mm (±10 mm)
製品の高さ (マットレスを含まない)	低	375 mm (+15 /-25 mm)
	高	755 mm (±10 mm)
製品下幅		150 mm
キャスターサイズ (シングルキャスター、およびオプションのデュアルキャスター)		150 mm
製品角度インジケータ		0° ~ 15°
背もたれ角度インジケータ		0° ~ 90°

背もたれ角度	0° ~ 60°
トレンデレンブルグ/逆トレンデレンブルグ	0° ~ 12°
膝上げ部角度	0° ~ 30°
電氣的要件	
バッテリー	24 VDC、10アンペア、モデルBA1812
コントロールボックス	100 ~ 240 VAC、公称50 Hz ~ 60 Hz、入力 : 370 ~ 456 VA
電気に関する分類	製品が電源に接続されている時はクラス1 製品が電源に接続されていない時は内部電源
デューティサイクル	2分間のアクティブと18分間のアイドル

クラス1装置: 基礎絶縁だけに依存しない感電に対する保護があり、基礎絶縁が破損した場合でも可触の金属部に通電しないように、固定配線の保護用接地線に接続することによって、追加の安全措置を講じている装置。

適合するマットレス	
7002-2-012	2000 mm x 860 mm x 120 mm
7002-2-014	2000 mm x 860 mm x 140 mm
7002-2-512	2000 mm x 860 mm x 120 mm
7002-2-514	2000 mm x 860 mm x 140 mm
7002-2-714	2000 mm x 860 mm x 140 mm
7002-4-018	330 mm x 710 mm x 180 mm
7002-4-518	330 mm x 710 mm x 180 mm
7002-4-520	330 mm x 710 mm x 200 mm
7002-4-020	330 mm x 710 mm x 200 mm
7002-5-012	2000 mm x 860 mm x 120 mm
7002-5-014	2000 mm x 860 mm x 140 mm
7002-5-512	2000 mm x 860 mm x 120 mm
7002-5-514	2000 mm x 860 mm x 140 mm
7002-5-712	2000 mm x 860 mm x 120 mm
2871-000-003	2200 mm x 900 mm x 200 mm
2872-000-007	2000 mm x 902 mm x 241 mm
2872-000-008	2000 mm x 902 mm x 241 mm
2872-000-017	2000 mm x 902 mm x 241 mm
2872-000-018	2000 mm x 902 mm x 241 mm

環境条件	操作方法	保管と運搬
温度	 (5 °C) — (38 °C)	 (-10 °C) — (50 °C)
相対湿度	 20% — 90%	 20% — 90%
大気圧	 800 hPa — 1060 hPa	 800 hPa — 1060 hPa

記載の仕様は概算値であり、製品によって、あるいは電力供給の変動によって若干異なることがあります。

Strykerは通知なく仕様を変更する権利を有します。

適用基準	
IEC 60601-1:2012	医用電気機器-パート1: 基礎安全および基本性能に関する一般要件
IEC 60601-1-2:2014	医用電気機器-パート1-2: 基礎安全および基本性能に関する一般要件 - 副通則: 電磁両立性-要求事項および試験
IEC 60601-2-52:2009 + A1:2015	医用電気機器-パート2-52: 医用ベッドの基礎安全および基本性能に関する個別要求事項
IEC 60601-2-54:2009 + A2:2018*	医用電気機器-パート2-54: 撮影・透視用X線装置の基礎安全および基本性能に関する個別要求事項

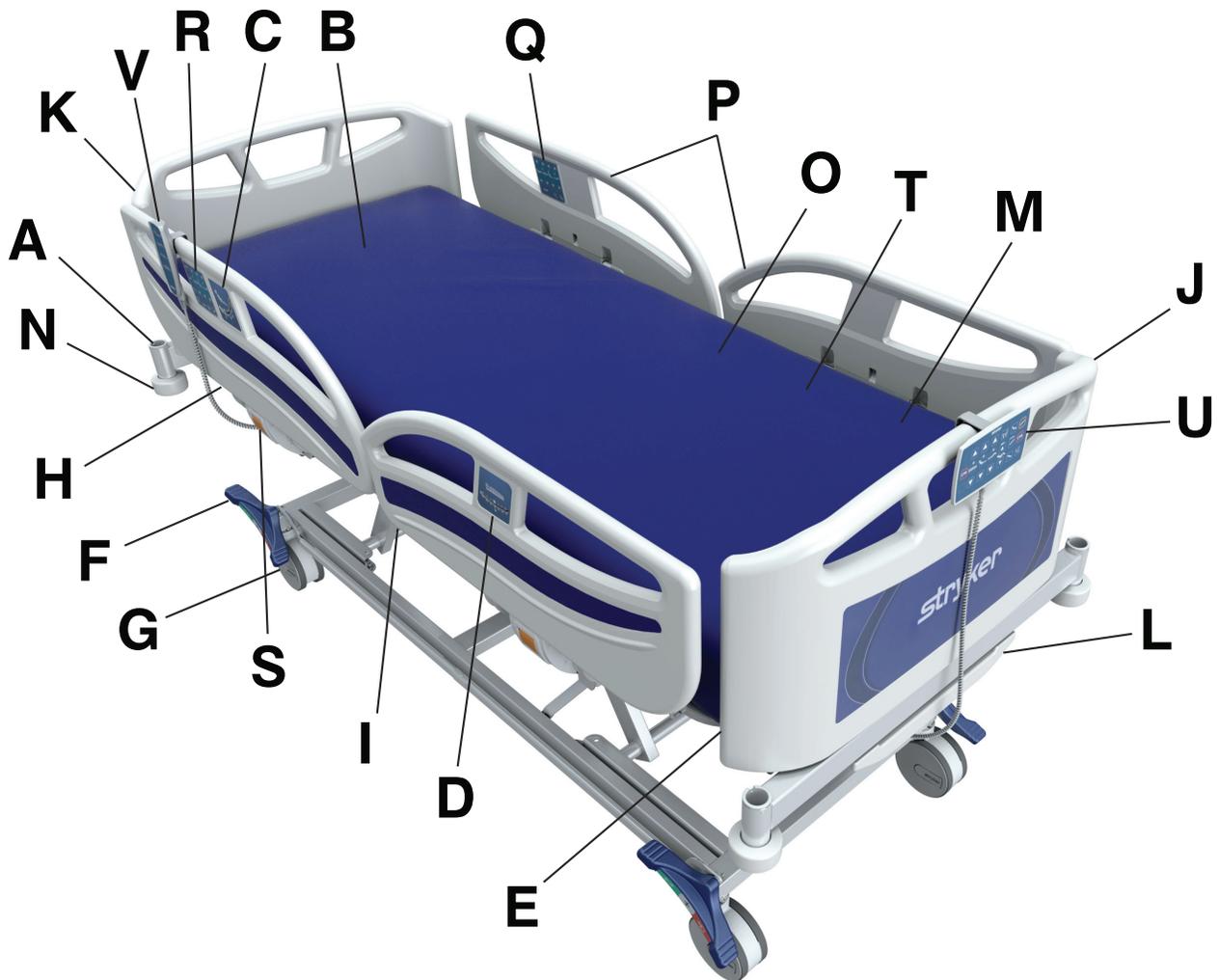
*製品が放射線透過性の背もたれを搭載している場合にのみ適用されます

警告 - 製品に示される入力電圧および周波数のみを使用してください。

注意

- 電磁的な干渉のリスクを小さくするために、製品はIEC 60601-1-2規格に準拠して設計されています。問題を回避するため、本操作マニュアルのEMCセクションで説明されるEMC/EMI要件に従いベッドを使用してください。
- アンテナケーブルや外部アンテナなどの周辺機器を含め、移動式RF無線機器をSV2 (製造業者が指定するケーブルを含む) から30 cm (12インチ)以内の距離で使用しないでください。これに従わないと、本装置の性能が劣化する可能性があります。
- 製品の誤作動を防ぐため、本機器を他の機器の近くでまたは他の機器と重ねて使用しないでください。このようにして使用する必要がある場合は、本機器およびその他の機器を注意深く観察して、それらの機器が適切に作動していることを確認してください。
- 本機器の製造業者が指定または供給するもの以外の付属品、トランスデューサーおよびケーブルを使用すると、電磁干渉の上昇や電磁免疫性の低下が生じ、その結果誤作動が起こる可能性があります。

製品図示



A	付属スリーブ	L	リネントレー (オプション)
B	背もたれ	M	下脚部
C	背もたれインジケーター	N	ローラーバンパー
D	ベッド角度インジケーター	O	シート部
E	ベッド延長器 (オプション)	P	サイドレール
F	ブレーキ/ステアリングペダル	Q	サイドレール コントロールパネル (サイドレールの内側) (オプション)
G	キャスター (オプションでデュアル車輪キャスター)	R	サイドレール コントロールパネル (サイドレールの外側) (オプション)
H	心肺蘇生用リリース	S	サイドレールラッチ
I	尿バッグのフック	T	上脚部
J	フットボード	U	ナース用コントロールペンダント (オプション)
K	ヘッドボード	V	患者用コントロールペンダント (オプション)

適合部品



図 2 – タイプB適合部品

連絡先

Strykerカスタマーサービスまたはテクニカルサポートまでご連絡ください：+1 800-327-0770.

Stryker Medical International
Kayseri Serbest Bölge Şubesi
2. Cad. No:17 38070
Kayseri, Turkey

電子メール: infosmi@stryker.com

電話：+ 90 (352) 321 43 00 (PBX)

ファックス：+ 90 (352) 321 43 03

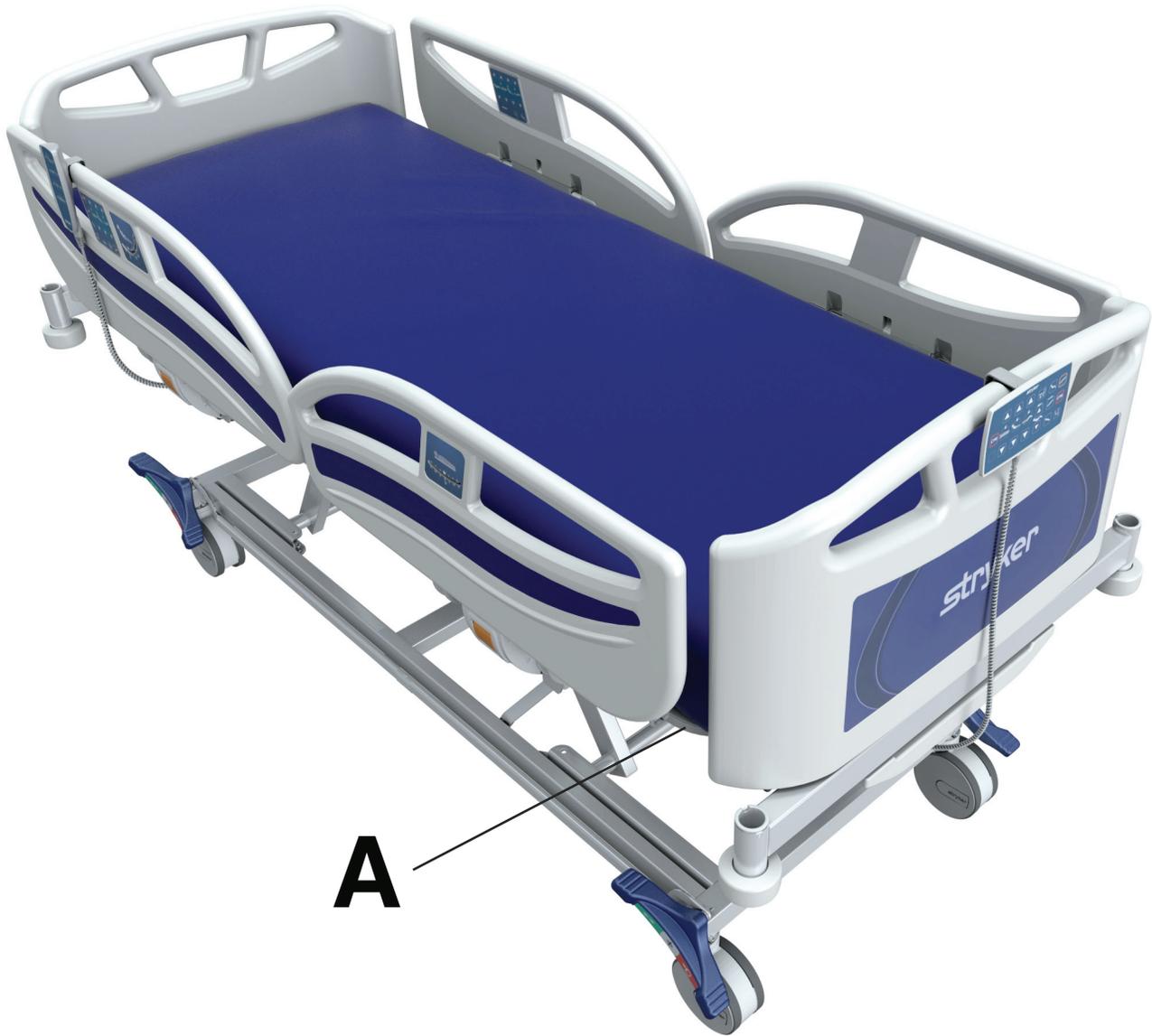
ホームページ: www.stryker.com

注記 - 製品に関連して重大な事故が発生した場合、使用者および / または患者は居住地を管轄する欧州連合加盟国の監督官庁並びに製造業者の両方に報告する必要があります。

オンラインの操作・保守説明書を閲覧するには、<https://techweb.stryker.com/>を参照してください。

Strykerカスタマーサービスにご連絡いただく際は、Stryker製品のシリアル番号(A)をご用意ください。書面にてご連絡いただく場合は、必ずシリアル番号を記載してください。

シリアル番号の位置



セットアップ

警告

- 製品の機能損傷を防ぐため、必ず製品が室温になってから、設定や機能操作テストを行うようにしてください。
- 明らかな故障、欠陥、不具合、損傷がある場合は、製品を使用しないでください。
- 使用が操作者や患者の怪我を引き起こす場合は、いかなる状況でも製品を使用しないでください。
- すべての操作者が構造から離れている場合にのみ、製品の操作を行ってください。
- 感電のリスクを避けるため、保護接地付き電源に接続してください。
- 絡まり、電源コードの損傷、または潜在的な感電のリスクを回避するために、電源コードは常に保管してください。電源コードが損傷してしまった場合は、製品の使用を中止し、適切なメンテナンス担当者に連絡してください。
- 緊急時に壁の電源コンセントから電源コードを抜けるように、常に製品の頭側端部と近くの壁との間は十分な隙間を空けておいてください。
- 製品を移動させる前に、必ず電源コードを収納してください。
- 電源コードを製品のいかなる部分にも取り付けしないでください。
- 予期しない動作があった場合は、必ず電源コードを抜きメンテナンス担当者に連絡してください。
- ベッドの下に物を置かないでください。
- ボトムカバーなしでベッドを使用しないでください。

注意 - 製品の隙間に物を入れないでください。

注記 - 製品には、すべての電極において同時に、電源から回路を電氣的に分離する適切な方法が取られています。

製品を使用する前に、これらの部品が作動することを確認してください：

1. 製品に輸送による損傷の兆候がないか目視点検を行います。
2. 製品と、すべての部品・付属品が届いていることを確認します。
3. ブレーキペダルを踏み込み、ブレーキ、ステアリング、ニュートラル位置が作動することを確認します。
4. サイドレールを上げ下げして、動くこと、収納、一番高い位置でしっかりとロックできることを確認します。
5. コントロールボックスにバッテリーケーブルをつなぎます (バッテリーケーブルのプラグを差し込む、または抜き去る (ページ15)) 。
6. 電源コードを保護接地付コンセントに差し込みます (本製品の電源プラグを差し込む、または抜く (ページ16)) 。
7. サイドレール コントロールパネル、ナース用コントロールペンダント、患者用コントロールペンダント (オプション) の各ボタンを押し、それぞれの機能が動作することを確認します (ナース用コントロールペンダント (ページ29)) 。
8. バッテリーが完全に充電されていることを確認します。
9. 心肺蘇生用リリースが動作することを確認します。
10. 本書の説明どおりに、オプションの付属品が全て取り付けられ、動作することを確認します。

動作時

バッテリーケーブルのプラグを差し込む、または抜き去る

コントロールボックスにバッテリーケーブルをつなぐ：

1. 上部レッグレストのカバー (A) を取り外します (図 3)。
2. コントロールボックスを見つけます (図 4)。
3. バッテリーケーブルをコントロールボックスにつなぎます。
4. バッテリーケーブルロックを押し、バッテリーケーブルをコントロールボックス (A) に固定します (図 4)。

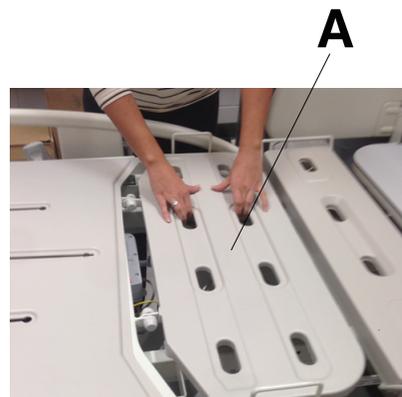


図 3 – 上部レッグレストのカバーを取り外す

コントロールボックスからバッテリーケーブルを抜き去る：

1. 上部レッグレストのカバー (A) を取り外します (図 3)。
2. コントロールボックスを見つけます (図 4)。
3. バッテリーケーブルをコントロールボックス(A)につなぎます (図 4)。
4. コントロールボックスからバッテリーの接続を外します。
5. テープを使用して、バッテリーケーブルをボトムフレームに固定します (図 5)。

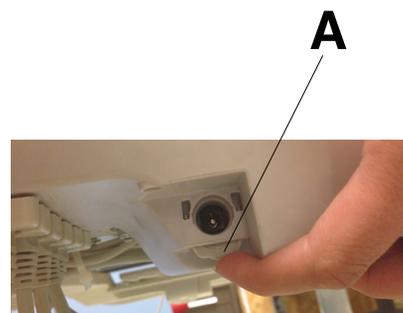


図 4 – バッテリーケーブルをロックまたはロック解除する



図 5 – コントロールボックスからバッテリーケーブルを抜き去る

本製品の電源プラグを差し込む、または抜く

警告

- 感電のリスクを避けるため、保護接地付き電源に接続してください。
 - 絡まり、電源コードの損傷、または潜在的な感電のリスクを回避するために、電源コードは常に保管してください。電源コードが損傷してしまった場合は、製品の使用を中止し、適切なメンテナンス担当者に連絡してください。
 - 緊急時に壁の電源コンセントから電源コードを抜けるように、常に製品の頭側端部と近くの壁との間は十分な隙間を空けておいてください。
 - 製品を移動させる前に、必ず電源コードを収納してください。
-

製品を電源に接続するには、電源コードを保護接地付コンセントに差し込みます。

製品をコンセントから抜くには、コンセントから近いプラグ部分をしっかりと持ち、角度をつけずに、床面と水平になるように抜きます。

バッテリーの充電

警告

- バッテリー、コントロールケーブル、ペンダントが過熱していると気づいたら、必ず電源コードを壁のコンセントから抜いてください。有資格の担当者が点検、保守を行い、意図通りに動作していると確認するまで、製品を使用しないでください。
 - 古いバッテリーを開けないでください。
 - バッテリーは火の中に投入しないでください。
 - バッテリーに液体をこぼしたり、バッテリーを液体に漬けないでください。
-

注意

- バッテリー使用で操作する際の製品性能を最大限に高めるため、未使用時にベッドのプラグを壁コンセント（調整交流電源）につないでバッテリーの充電を維持する必要があります。
 - バッテリー端子の腐食や亀裂、側面の拡大や膨らみがある場合、あるいはフル充電を維持することができなくなった場合には、必ず電池を交換してください。
 - バッテリーを交換する際には、認定されたバッテリーのみを使用してください。認定されていないバッテリーを使用すると、予測できないシステム動作を引き起こす可能性があります。
-

SV2には、製品が壁のコンセントにつながれている時に充電するバッテリーバックアップシステムが備わっています。製品がコンセントにつながっていない時、停電時、患者の移動時にも、バッテリーバックアップシステムにより操作者は製品を使用できます。バッテリーバックアップ機能は、製品の電源プラグが抜かれた時に有効になります。

予防保守チェックリストに従って、バッテリーバックアップ機能を点検してください（予防保守（ページ42）を参照）。予防保守中に意図したとおりに動作しない場合は、必ずバッテリーを交換してください。

バッテリーを充電するには、製品を壁のコンセントにつなぎます。バッテリーは10～12時間でフル充電されます。

バッテリーを長期間保管する

警告 - 製品を長期間にわたり保管する時は、必ずコントロールボックスからバッテリーケーブルを取り外してください。

注意 - 製品の上に重いものを載せたり置かないでください。

この仕様セクションの説明どおり、環境に応じてバッテリーを保管してください（仕様（ページ8））。

バッテリーを保管する：

- を参照してください本製品の電源プラグを差し込む、または抜く（ページ16）。
- を参照してくださいバッテリーケーブルのプラグを差し込む、または抜き去る（ページ15）。

電源コードを保管する

警告

- 製品を移動させる前に、必ず電源コードを収納してください。
- 絡まり、電源コードの損傷、または潜在的な感電のリスクを回避するために、電源コードは常に保管してください。電源コードが損傷してしまった場合は、製品の使用を中止し、適切なメンテナンス担当者に連絡してください。

注意 - ベッドフレームで電源コードを押さえつけたり、挟まないようにしてください。

電源コードを保管するには、製品の頭側端部の下にあるコードラップ (A) に電源コードを巻きつけてください (図 6)。



図 6 - 電源コードを保管する

製品を移動する

警告

- 製品を移動させる前に、必ず電源コードを収納してください。
- 患者を移動させる時は常に、仰臥面が一番低い位置にある状態で、サイドレールを一番高い位置にロックしてください。
- 常に四肢、手、指、その他の体の部分が、構造や隙間に入っていないようにします。
- 常に製品の付近に障害物がないことを確認してください。障害物にぶつかった場合、患者、操作者、居合わせた人に対する人身事故や、フレームまたは周囲の機器の損傷を招くことがあります。
- 製品を横方向に動かそうとしないでください。製品の転倒を招くことがあります。

注意

- サイドレールを押ししたり引いたりするための器具として使用しないでください。ベッドを動かすときは常にヘッドボードおよびフットボードと一体型のハンドルを使用してください。
- 製品を移動させる前に患者のリフトポールを必ず取り外してください。
- 点滴ポールを押ししたり引いたりするための道具として使用しないでください。
- 移動中は、点滴ポールが低い位置にあることを必ず確認してください。

製品を運搬する :

1. サイドレールコントロールパネルおよび患者用コントロールペンダント機能をロックします (ナース用コントロールペンダント (ページ 29) を参照) 。
2. 壁コンセントから電源プラグを抜きます。
3. を参照してください電源コードを保管する (ページ 17) 。
4. コントロールペンダントを保管します。
5. リネントレーを格納します (リネントレー (オプション) を延ばす、または格納する (ページ 32) を参照) 。
6. 点滴ポールを低くします。
7. 酸素ボンベホルダーをベッドの方に入れます。
8. サイドレールを一番高い位置に上げてロックします (サイドレールの昇降 (ページ 25) を参照) 。

9. ブレーキを解除します (ブレーキをかけるまたは解除する (ページ19)を参照)。
10. ヘッドボードまたはフットボード側から製品を押しします。

ブレーキをかけるまたは解除する

警告

- ブレーキをかけた後で製品を動かさないでください。
- 患者が乗り降りする際は、バランスを崩すことがないように必ずブレーキをかけてください。
- 患者に付き添いが無いときは、必ずブレーキをかけてください。

注意

- 予期せぬ動きを防ぐため、必ずブレーキをかけてください。
- 製品の動きを停止するためにブレーキをかけないでください。

ブレーキペダルは各キャスターにあります。

ブレーキをかけるには、赤色のペダルを踏み込みます。ブレーキペダルは、4つすべてのキャスターをロックします。これにより、製品が所定の場所に固定されます(図7)。



図7-ブレーキをかける

ブレーキを解除するには、緑色のペダルをペダルがニュートラル位置になるまで踏み込みます(図8)。これにより4つすべてのキャスターが解除され、製品を自由に動かします。



図8-ブレーキを解除する

ステアリングロックをかけるまたは解除する

ステアリングペダルは各キャストにあります。

ステアリングキャストを作動させるには、緑色のペダルを踏み込みます (図 9)。これにより、製品を前後にまっすぐ動かすことができます。



図 9 – ステアリングペダルを作動させる

ステアリングキャストを解除するには、赤色のペダルをペダルがニュートラル位置になるまで踏み込みます (図 10)。これにより足側端部の右側キャストが解除され、製品を自由に動かします。



図 10 – ステアリングペダルを解除する

第5輪をかけるまたは解除する (オプション)

ステアリングペダルは各キャストにあります。

第5輪を作動させるには、緑色のペダルを踏み込みます (図 11)。これにより、第5輪を下げて、製品を前後にまっすぐ動かすことができます。



図 11 – 第5輪を作動させる

第5輪を解除するには、赤色のペダルをペダルがニュートラルのポジションになるまで踏み込みます (図 12)。これにより第5輪が格納され、製品を前後左右に自由に動かせます。



図 12 – 第5輪を解除する

心肺蘇生用リリースを起動および再設定する

警告 - 心肺蘇生用リリースを起動する前に、背もたれの下または周囲に人や物がないことを必ず確認してください。心肺蘇生用リリースの使用は緊急時に限ります。

背もたれが上がっている状態で、患者にすばやくアクセスする必要がある場合は、心肺蘇生用リリースを起動して製品を0°位置にできます。

背もたれの左右両サイドの頭側端部に、即時心肺蘇生用リリースレバーがあります。

心肺蘇生用リリースを起動する：

1. いずれかのレバー (A) をつかんで外側に引っ張ります (図 13)。
2. 背もたれを平らになるまで下がるように誘導します。

心肺蘇生用リリースを起動した後に背もたれをリセットするには、コントロールパネルの背もたれダウンボタンか、ナース用コントロールパネルの心肺蘇生ボタンを押します。



図 13 – 心肺蘇生用リリース

ヘッドボードの取り外しまたは交換

警告 - ヘッドボードを交換する時は挟まるのを防ぐため、常にヘッドボードを適切な位置に合わせてください。

患者へ近づきやすくしたり、清掃のために、フットボードを取り外すことができます。

ヘッドボードを取り外す：

1. 患者用コントロールペンダントを頭側端部のサイドレールにかけます。
2. ハンドルをつかみ、ヘッドボードをまっすぐ上に持ち上げ、ベッドから外します (図 15)。

ヘッドボードを交換する：

1. ベッドの足側端部と湾曲したヘッドボードの角を合わせます (図 14)。
2. ヘッドボードのペグ (A) とベッドの頭側端部にあるプラスチック製のスリーブ (B) を合わせます (図 15)。
3. プラスチック製のスリーブに固定されるまでヘッドボードを下げます (B) (図 15)。



図 14 - ヘッドボードの方向

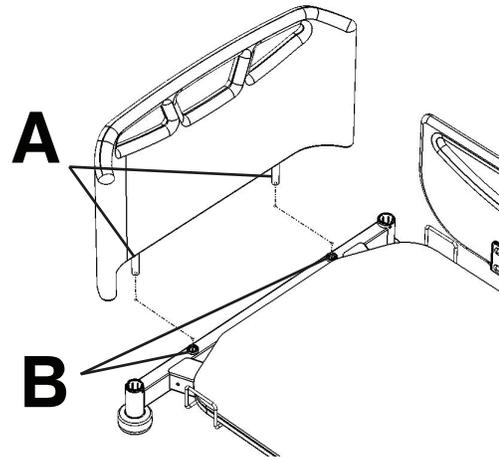


図 15 - ヘッドボードの取り外しまたは交換

フットボードの取り外しまたは交換

警告 - フットボードを交換する際は挟まるのを防ぐため、常にフットボードを適切な位置に合わせてください。

注意 - フットボードを取り外す前に、必ずナース用コントロールペンダントを足側端部のサイドレールまたはリネントレー (オプション) にかけます。

患者へ近づきやすくしたり、清掃のために、フットボードを取り外すことができます。

フットボードを取り外す：

1. ナース用コントロールペンダントを足側端部のサイドレールまたはリネントレー (オプション) にかけます。
2. ハンドルをつかみ、フットボードをまっすぐ上に持ち上げ、ベッドから外します (図 17)。

フットボードを交換する：

1. ベッドの頭側端部と湾曲したフットボードの角を合わせます (図 16)。
2. フットボードのペグとベッドの足側端部にあるプラスチック製のスリーブを合わせます (図 17)。
3. プラスチック製のスリーブに固定されるまでフットボードを下げます (図 17)。



図 16 - フットボードの方向

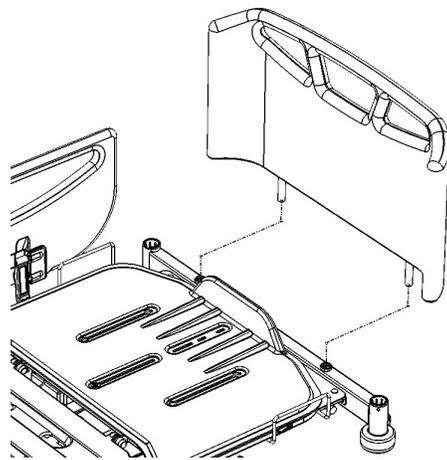


図 17 - フットボードの取り外しまたは交換

下脚部の上げ下げ

警告 - 下脚部を下げる前に、レッグレストの下または周囲に人や物がないことを必ず確認してください。

注意 - ベッド延長器の使用中に、下脚部を上げないでください。これは、製品が長身の患者の下脚を支えないような状況を防ぐためです。

下側レッグレストを手動で上げ下げできます。

下脚部を上げる：

1. 下脚部を両手でつかみます。
2. 下脚部を希望の高さまで上げます。
3. 下脚部を離し、正しい位置でロックされるようにします。

下脚部を下げる：

1. 下脚部を両手でつかみます。
2. 下脚部を一番高い位置まで上げて、下脚部のロックを解除します。
3. 下脚部を下に向かってボトムまで誘導します。

サイドレールの昇降

警告

- 患者を移動させる時は常に、仰臥面が一番低い位置にある状態で、サイドレールを一番高い位置にロックしてください。
- 常に四肢、手、指、その他の体の部分が、構造や隙間に入っていないようにします。
- 患者の状況により安全対策がさらに必要な場合を除いて、常にサイドレールをロックしてください。
- 患者に付き添いが無い時は、常にサイドレールが一番高い位置にロックしておいてください。
- 患者がベッドから離床するのを防ぐための固定装置としてサイドレールを使用しないでください。操作者が患者の安全を確保するために固定がどの程度必要かを判断する必要があります。
- サイドレールに座らないでください。

注意 - サイドレールを使用してベッドを動かさないでください。ベッドを動かすときは常にヘッドボードおよびフットボードと一体型のハンドルを使用してください。

サイドレールは両手を使って上げ下げしなければなりません。サイドレールが一番高い位置でのみロックされます。

サイドレールを上げる時は、サイドレールが高い位置にロックされると「カチッ」という音が聞こえます。サイドレールを引いて所定の位置にロックされていることを確認してください。

サイドレールを上げるには、サイドレールをつかんで引き上げます。

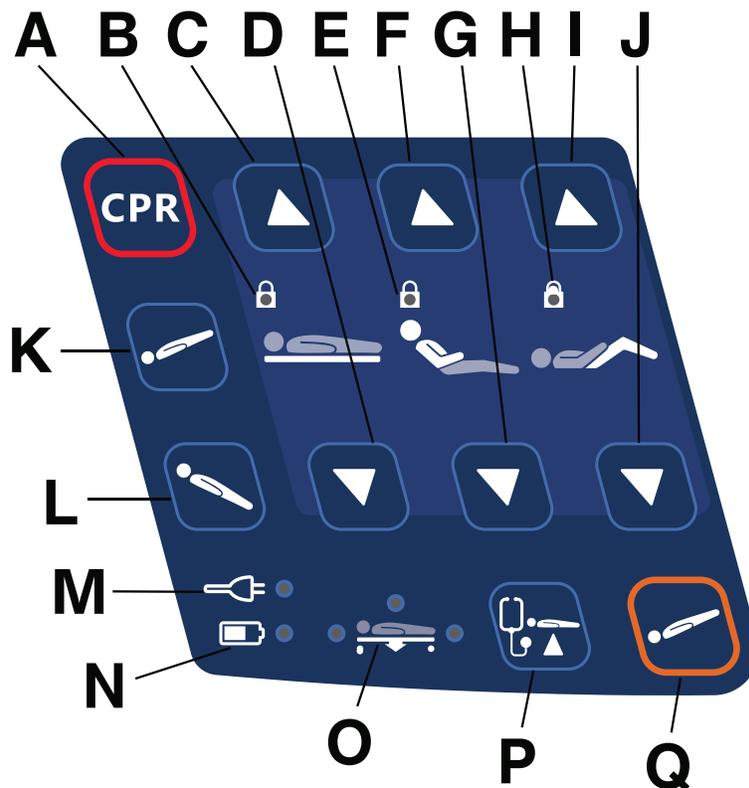
サイドレールを下げるには、黄色の解除用ラッチ (A) (図 18) を上げてから、サイドレールを下に誘導します。



図 18 - サイドレールの昇降

ナースコントロールパネル (サイドレールの外側) (オプション)

警告 - 患者に付き添いが無い時は、必ずベッドのモーションコントロールをロックしてください。



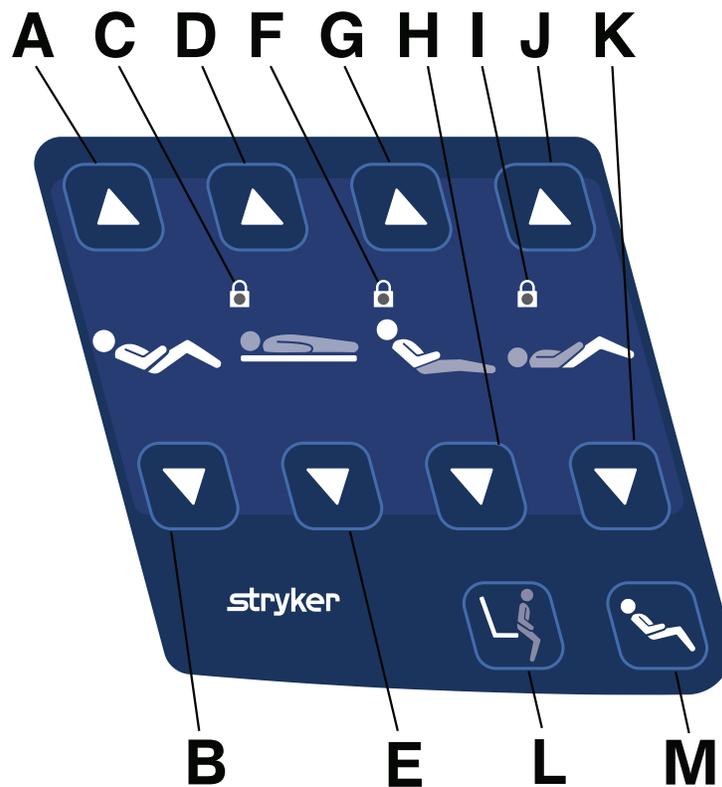
	品名	機能
A	緊急心肺蘇生	コントロールパネルのロックアウトを無効にし、水平低床位にします。コントロールパネルの電源が切られている場合でも、使用可能です。
B	ボトム ロックアウトLED	ボトム部分をロックした時に点灯します
C	ボトム アップ	ボトムを上げます
D	ボトム ダウン	ボトムを下げます
E	背もたれロックアウトLED	背もたれ部分をロックした時に点灯します
F	背もたれアップ	背もたれを上げます
G	背もたれダウン	背もたれを下げます
H	上脚ロックアウトLED	上脚部をロックした時に点灯します
I	上脚アップ	上脚部を上げます
J	上脚ダウン	上脚部を下げます
K	トレンデレンブルグ位	製品をトレンデレンブルグ位にします (頭部を低く、足を高くします)
L	逆トレンデレンブルグ位	製品を逆トレンデレンブルグ位にします (頭部を高く、足を低くします)
M	プラグインジケータ	製品がプラグ接続されていると点灯します
N	バッテリー交換インジケータ	製品を壁のコンセントに接続してバッテリーの充電が行われる間、琥珀色に点灯します。バッテリーは10～12時間でフル充電されます。バッテリーが充電完了すると、LEDは点灯しません。

	品名	機能
O	低 高さインジケータ	製品が最低高さのポジションから2 cm以内になると、緑色に点灯します。
P	試験ポジション	ボトムを平らにし、一番高い位置までボトムを上げます
Q	ワンボタン バスキュラーポジション	コントロールパネルのロックアウトを無効にし、12° トレンデレンブルグ位にします

患者コントロールパネル (サイドレールの内側) (オプション)

警告 - 患者に付き添いが無い時は、必ずベッドのモーションコントロールをロックしてください。

医療提供者は、患者に患者コントロールの使用方を説明しなければなりません。



	品名	機能
A	オートコントロール アップ	背もたれと上脚部を同時に上げます
B	オートコントロール ダウン	背もたれと上脚部を同時に下げます
C	ボトム ロックアウトLED	ボトム部分をロックした時に点灯します
D	ボトム アップ	ボトムを上げます
E	ボトム ダウン	ボトムを下げます
F	背もたれロックアウトLED	背もたれ部分をロックした時に点灯します
G	背もたれアップ	背もたれを上げます

	品名	機能
H	背もたれダウン	背もたれを下げます
I	上脚ロックアウトLED	上脚部をロックした時に点灯します
J	上脚アップ	上脚部を上げます
K	上脚ダウン	上脚部を下げます
L	離床	患者がベッドに出入りできるように、ボトムを低く下げ、上脚部を低く下げ、背もたれを持ち上げます。
M	椅子座位ポジション	製品を椅子座位ポジションにする

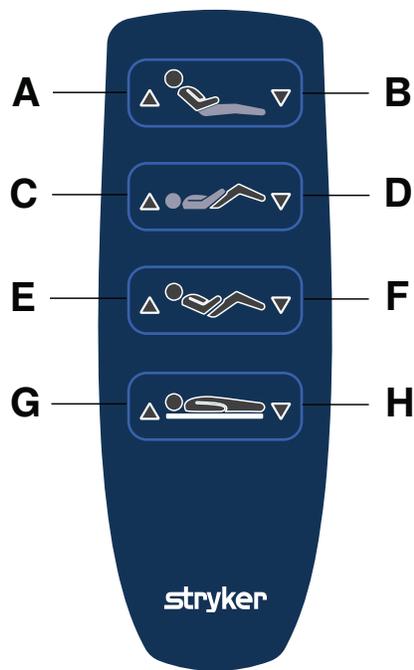
患者用コントロールペンダント (オプション)

警告 - 患者に付き添いが無い時は、必ずベッドのモーションコントロールをロックしてください。

注意

- 患者用コントロールペンダントは、ペンダント使用時には必ずマットレスの上に安全に置いてください。
- 患者用コントロールペンダントは、ペンダント不使用時には必ずサイドレールの上にかけてください。
- ベッドフレームでペンダントコードを押さえついたり、挟まないようにしてください。

医療提供者は、患者に患者コントロールの使用方法を説明しなければなりません。



	品名	機能
A	背もたれアップ	背もたれを上げます
B	背もたれダウン	背もたれを下げます
C	上脚アップ	上脚部を上げます
D	上脚ダウン	上脚部を下げます
E	オートコントロール アップ	背もたれと上脚部を同時に上げます

	品名	機能
F	オートコントロール ダウン	背もたれと上脚部を同時に下げます
G	ボトム アップ	ボトムを上げます
H	ボトム ダウン	ボトムを下げます

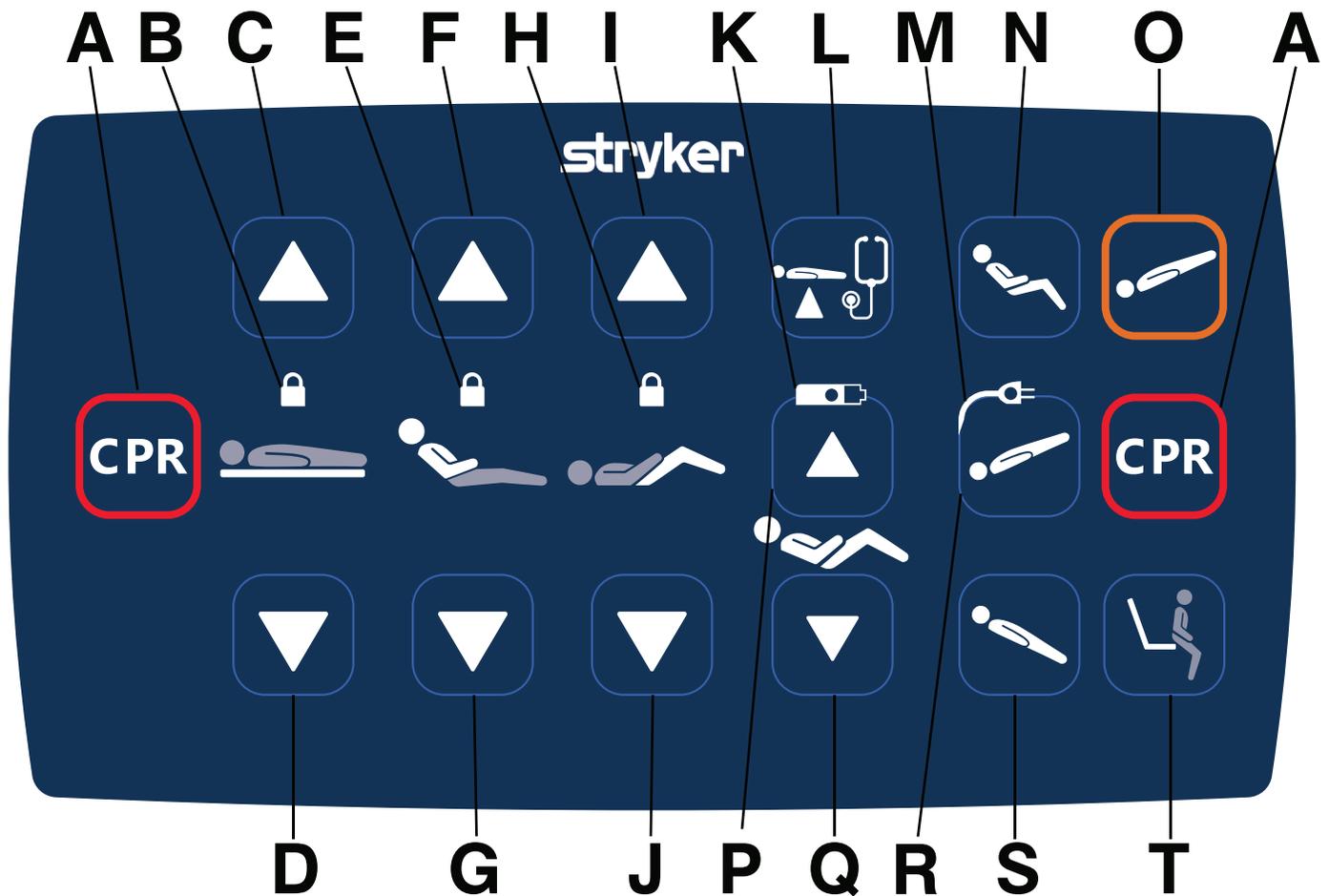
ナース用コントロールペンダント

警告

- 患者に付き添いが無い時は、必ずベッドのモーションコントロールをロックしてください。
- ナース用コントロールペンダントを患者から届く範囲に絶対に置かないでください。

注意

- ナース用コントロールペンダントは、必ずフットボードに置いてください。
- フットボードを取り外す前に、必ずナース用コントロールペンダントを足側端部のサイドレールにかけるか、リネントレー（オプション）に収納します。
- ペンダントケーブルをベッドフレームで押さえつけたり挟まないようにしてください。



	品名	機能
A	緊急心肺蘇生	コントロールパネルのロックアウトを無効にし、水平低床位にします。コントロールパネルの電源が切られている場合でも、使用可能です。
B	ボトム ロックアウト/ボトム ロックアウトLED	ボトムモーションのロックを有効または無効にします。ボトム部分をロックした時に点灯します。
C	ボトム アップ	ボトムを上げます
D	ボトム ダウン	ボトムを下げます
E	背もたれアップ ロックアウト/背もたれロックアウト LED	背もたれのロックを有効または無効にします。背もたれをロックした時に点灯します。
F	背もたれアップ	背もたれを上げます
G	背もたれダウン	背もたれを下げます
H	上脚ロックアウト/上脚ロックアウトLED	上脚部のロックを有効または無効にします。上脚部をロックした時に点灯します。
I	上脚アップ	上脚部を上げます
J	上脚ダウン	上脚部を下げます
K	バッテリー交換インジケータ	製品を壁のコンセントに接続してバッテリーの充電が行われる間、琥珀色に点灯します。バッテリーは10～12時間でフル充電されます。バッテリーが充電完了すると、LEDは点灯しません。
L	試験ポジション	ボトムを平らにし、一番高い位置までボトムを上げます
M	プラグインジケータ	製品がプラグ接続されていると点灯します
N	椅子座位ポジション	製品を椅子座位ポジションにする
O	ワンボタン バスキュラーポジション	コントロールパネルのロックアウトを無効にし、12°トレンデレンブルグ位にします
P	オートコントロール アップ	背もたれと上脚部を同時に上げます
Q	オートコントロール ダウン	背もたれと上脚部を同時に下げます
R	トレンデレンブルグ位	製品をトレンデレンブルグ位にします (頭部を低く、足を高くします)
S	逆トレンデレンブルグ位	製品を逆トレンデレンブルグ位にします (頭部を高く、足を低くします)
T	離床	患者がベッドに出入りできるように、ボトムを低く下げ、上脚部を低く下げ、背もたれを持ち上げます

ベッド延長器 (オプション) を延ばす

警告

- ベッド延長器の上にはすわらないでください。製品の転倒を招くことがあります。
- ベッド延長器に体重をかける前に、必ずベッド延長器をロックします。

注意

- ベッド延長器を延ばした後でフットボードを取り外さないでください。
- ベッド延長器の使用中に、下脚部を上げないでください。これは、製品が長身の患者の下脚を支えないような状況を防ぐためです。

ベッド延長器を使用するとベッドの長さを31 cm長くすることができます。

ベッド延長器の伸展方法：

1. 各ノブを引いて90°回し、ベッド延長器のロックを解除します (図 19) 。
2. フットボードのハンドルを掴みます。
3. フットボードを引いて、ベッド延長器を延ばします (図 20) 。
4. 各ノブを引いて90°回し、ベッド延長器を所定の位置にロックします。

注記 - ベッド延長器をロックする時、ベッド延長器がロックされると「カチッ」という音が聞こえます。フットボードを押したり引いたりし、ベッド延長器がロックされていることを確認します。

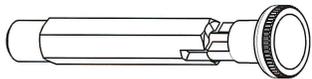


図 19 - ベッド延長器をロック解除する



図 20 - ベッド延長器を延ばす

ベッド延長器補助マットレスを取り付ける

マットレスの仕様は、MAシリーズマットレスのマニュアルをご参照ください。

推奨のベッド延長器補助マットレス：

適合する補助マットレス	寸法
7002-4-018	330 mm x 710 mm x 180 mm
7002-4-020	330 mm x 710 mm x 200 mm
7002-4-518	330 mm x 710 mm x 180 mm
7002-4-520	330 mm x 710 mm x 200 mm

ベッド延長器補助マットレスを取り付ける：

1. を参照してください **ベッド延長器 (オプション) を延ばす** (ページ 31) 。

2. ベッド延長器補助マットレスをマットレスとフットボードの間に配置します。
3. ベッド延長器補助マットレスを上から押して所定の位置に固定します。

リネントレー (オプション) を延ばす、または格納する

リネントレーはオプションの一体型収納ユニットで、患者の衣服、洗濯物、ナース用コントロールペンダントを収納できます。リネントレーは製品の足側端部に見つけることができます。

警告

- 製品を動かす前に、リネントレー (オプション) を必ず格納してください。
 - 使用していないときは、リネントレー (オプション) を必ず格納してください。
-

注意 - リネントレーの定格荷重は15 kgです。

リネントレーを延ばすには、プラスチック製のリネントレーをつかんで使用者の方向に引き出します。

リネントレーを格納するには、プラスチック製のリネントレーをつかんでフレーム内に押し入れます。



図 21 - ナース用コントロールペンダントを収納する

X線カセットホルダー (オプション) にカセットを挿入する、または取り出す

警告 - 放射線透過性の背もたれ (オプション) が備わっていない場合は、製品をX線処置には使用しないでください。

SV2には、患者がベッドにいながらX線画像が撮影できる放射線透過性の背もたれがオプションで備わっていることがあります。

背もたれの後部にあるハウジングにX線カセットを挿入し、X線画像の撮影ができます。X線カセットの挿入またはX線撮影のために、患者を移動させる必要はありません。

X線ガイド寸法：390 mm x 660 mm x 16 mm

X線カセットの推奨寸法：

- 385 mm x 385 mm x 15 mm
- 460 mm x 383 mm x 15 mm

X線カセットを挿入する：

1. を参照してくださいヘッドボードの取り外しまたは交換 (ページ22)。
2. X線カセットホルダーにX線カセットをスライドさせて入れます。
3. 患者を適切な位置に調整します。

X線カセットを取り出す：

1. X線カセットホルダーからX線カセットをスライドさせて出します。
2. を参照してくださいヘッドボードの取り外しまたは交換(ページ22)。

付属品と部品

これらの付属品はご使用の製品に使用できる場合があります。製品の設定または地域において利用可能かご確認ください。

注意 - 製品に認められた付属品のみを使用してください。認められていない付属品を使用すると、製品の損傷や、使用者もしくは患者の怪我につながる可能性があります。Strykerは、製品の不適切な使用または認められていない付属品を使用したことに起因する損傷や怪我についての責任は一切負いません。

品名	品番	安全使用荷重
点滴ポール (カーブ型)	MM017	各点滴フック : 2 kg
点滴ポール (ストレート型)	MM060	各点滴フック : 2 kg
患者のリフトポール	MM003	75 kg
縦型酸素ポンベホルダー (直径120 mm)	MM006	7.5 kg
縦型酸素ポンベホルダー (直径120 mm、長さ900 mm)	MM061	7.5 kg
縦型酸素ポンベホルダー (直径120 mm、長さ640 mm)	MM062	7.5 kg
縦型酸素ポンベホルダー (直径140 mm、長さ640 mm)	MM063	7.5 kg
尿バッグ用バスケット	MM029	4 kg

点滴ポールを取り付ける

警告 - 患者の四肢や体の他の部分を支えるために、付属品を使用しないでください。

注意

- 付属品が所定の位置に固定されていることを必ず確認してください。
- 移動中は、点滴ポールが低い位置にあることを必ず確認してください。
- 点滴ポールを押したり引いたりするための道具として使用しないでください。
- 付属品が、製品の機械的または電氣的構造に干渉しないようにしてください。

ベッドの角にある4つの付属スリーブのいずれにでも、点滴ポールを取り付けることができます。点滴ポールは伸縮式のため別の高さでも使用できます。

点滴ポールを取り付ける：

1. 点滴ポールを4つの付属スリーブのいずれかに挿し込みます (図 22)。
2. 点滴ポールを回転させて付属スリーブに固定します (図 23)。

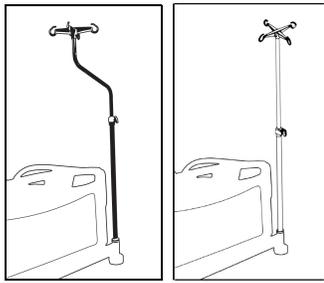


図 22 – 点滴ポールを取り付ける

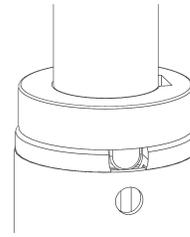


図 23 – 点滴ポールを固定する

点滴ポールを調整する

点滴ポールを調整する：

1. はめ込みノブを逆時計回りに回し、点滴ポールのロックを解除します (図 24)。
2. 点滴ポールをつかみます。
3. 点滴ポールを希望の高さまで上げます。
4. はめ込みノブを時計回りに回し、点滴ポールをロックします (図 24)。

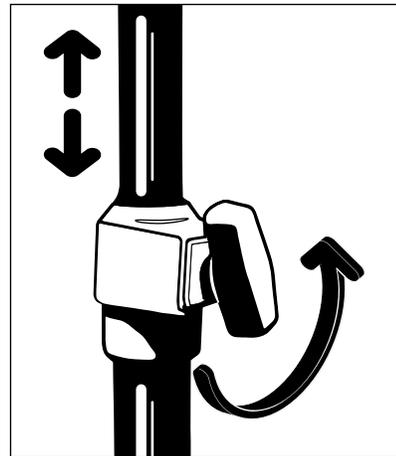


図 24 – 点滴ポールを調整する

リフトポールを取り付ける

リフトポールは、患者がベッドの上で体位を変える時に役立ちます。

警告 - 患者の四肢や体の他の部分を支えるために、付属品を使用しないでください。

注意

- 付属品が所定の位置に固定されていることを必ず確認してください。
 - 製品を移動させる前にリフトポールを必ず取り外してください。
 - リフトポールを押したり引いたりするための道具として使用しないでください。
 - 付属品が、製品の機械的または電氣的構造に干渉しないようにしてください。
-

リフトポールは、ベッドの頭側端部にある2つの付属スリーブのいずれにでも取り付けることができます。

リフトポールを取り付ける：

1. リフトポールを2つの付属スリーブのいずれかに挿し込みます (図 25)。

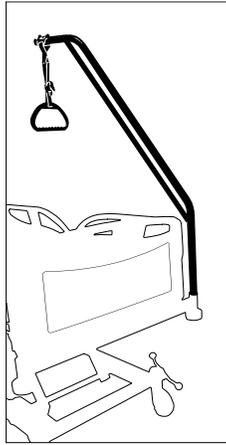


図 25 – リフトポールを取り付ける

2. リフトポールを回転させて付属スリーブに固定します。

リフトポールのハンドルを取り付ける

リフトポールのハンドルを取り付けるには、リフトポールの黒色グリップを2つのストッパーの間に配置します (図 26)。

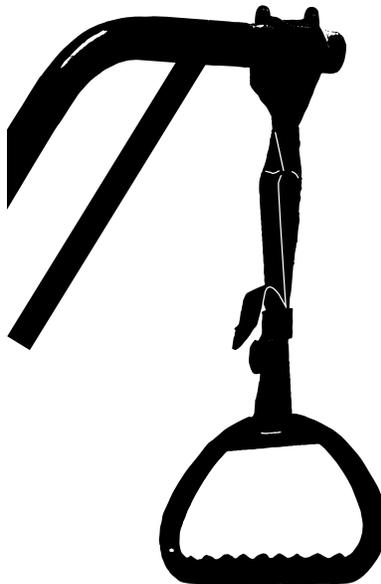


図 26 – リフトポールのハンドルを取り付ける

酸素ポンベホルダーを取り付ける

警告 - 患者の四肢や体の他の部分を支えるために、付属品を使用しないでください。

注意

- 付属品が所定の位置に固定されていることを必ず確認してください。

- 酸素ポンベホルダーを押したり引いたりするための道具として使用しないでください。
- 患者を移動させる前に、必ず酸素ポンベホルダーをベッド側に入れてください。
- 患者を移動させる際に、酸素ポンベホルダーにぶつからないようにしてください。
- 付属品が、製品の機械的または電気的構造に干渉しないようにしてください。
- 酸素ポンベホルダーに、7.5 kgの安全使用荷重を超える荷重をかけないでください。

酸素ポンベホルダーを取り付ける：

1. 酸素ポンベホルダーを頭側端部そばの2つの付属スリーブのいずれかに挿入します (図 27、図 28)。

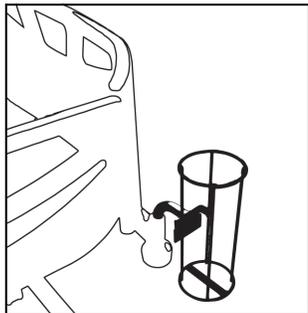


図 27 - 酸素ポンベホルダーを取り付ける (MM006)

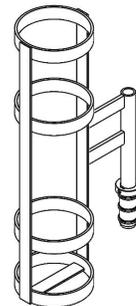


図 28 - 酸素ポンベホルダーを取り付ける (MM061/
MM062/MM063)

2. 酸素ボトルホルダーを回転させて付属スリーブに固定します (図 29)。

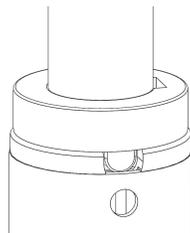


図 29 - 酸素ポンベホルダーを固定する

尿バッグ用バスケットを取り付ける

警告 - 患者の四肢や体の他の部分を支えるために、付属品を使用しないでください。

注意

- 尿バッグ用フックの定格荷重は2 kgです。
- 付属品が、製品の機械的または電気的構造に干渉しないようにしてください。

尿バッグ用バスケットを取り付けるには、バスケットを尿バッグ用フックに引っ掛けます (図 30)。

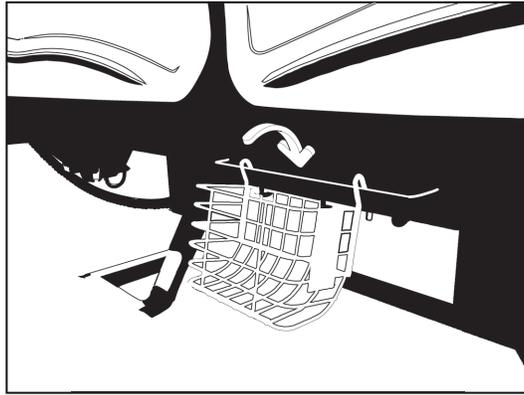


図 30 – 尿バッグ用バスケットを取り付ける

洗浄

製品洗浄の準備を行う

洗浄と消毒は異なる2つのプロセスです。消毒の前に洗浄を行い、洗浄剤の効果があることを確認します。

製品洗浄の準備を行う：

1. ボトムを一番高い位置まで上げます。
2. サイドレールコントロールパネルおよび患者用コントロールペンダント機能を動作ロックします（患者用機能をロックする方法については、操作マニュアルを参照）。
3. 壁コンセントから電源プラグを抜きます。
4. 電源コードの保管方法については、操作マニュアルを参照してください。
5. ブレーキをかける方法については、操作マニュアルを参照してください。
6. マットレスを取り外します。

クリーニング

警告

- 製品の使用中は、洗浄、保守、メンテナンスを行わないでください。
- 清掃、保守、メンテナンスの実施前に必ず電源を切り、電源コードを抜いてください。
- サーキットボード、ケーブル、モーターの近くで大量に液体がこぼれた場合は、必ず製品の電源を切り、電源コードを壁のアウトレットから抜いてください。ベッドから患者を移動させて液体を掃除し、保守担当者に製品の点検を行ってもらいます。液体は、電気製品の予期しない動作や機能性の低下を引き起こすことがあります。ベッドが完全に乾き、安全な操作が可能なが十分なテストで証明されるまでは、絶対に製品の使用を再開しないでください。
- バッテリー、コントロールボックス、アクチュエーター、ケーブル、その他の電気機器に洗浄液を直接噴霧しないでください。
- 研磨剤、スチールウール、または製品の表面を傷つける可能性がある同様のものを使わないでください。
- 製品の消毒にVirex® TBを使用しないでください。
- ガソリン、ディーゼル、アセトンなど、清掃の目的で酸塩基または可燃性の薬品を使用しないでください。
- サイドレールコントロールパネル、患者用コントロールペンダント、ナース用コントロールペンダントに洗浄剤を直接噴霧したり、染みこませないでください。
- 洗浄剤や消毒剤は、高いアルカリ性または酸性であってはなりません（pH値6～8でなければなりません）。

注意

- 製品のいずれの部分も、蒸気洗浄、高圧洗浄、超音波洗浄、または水に浸すことはしないでください。水が触れると内部の電気部品が損傷することがあります。これらの清掃方法は推奨される方法ではなく、製品保証が無効になる場合があります。
- 必ず清浄水をつけた布で各製品を拭き、洗浄後はしっかりと乾かしてください。洗浄剤の中には腐食性のももあり、不適切に使用すると製品が損傷する場合があります。適切にすぎと乾燥を行わないと、製品の表面に腐食性残留物が残り、重要な部品に早発性腐食が生じる恐れがあります。これらの洗浄手順に従わないと保証が無効になる場合があります。

製品表面を清掃する：

1. 清潔で柔らかい湿った布を使用して、刺激の少ない石けんと水溶液で製品表面を拭き、異物を取り除きます。
2. 清潔な乾いた布で製品の表面を拭いて、余分な液体や洗浄剤を取り除いてください。
3. 完全に乾かします。

サイドレールを清掃する

警告

- サイドレールコントロールパネル、患者用コントロールペンダント、ナース用コントロールペンダントに洗浄剤を直接噴霧したり、染みこませないでください。
 - サイドレールコントロールパネルを鋭利なものを使って清掃しないでください。
 - 研磨剤、スチールウール、または製品の表面を傷つける可能性がある同様のものを使わないでください。
 - 製品の洗浄にVirex® TB を使用しないでください。
 - ガソリン、ディーゼル、アセトンなど、清掃の目的で酸塩基または可燃性の薬品を使用しないでください。
-

サイドレールを清掃する：

1. サイドレールを上げます。
2. サイドレールをラッチで固定します。
3. 清潔で柔らかい湿らせた布を使って、サイドレールとサイドレールコントロールパネルを拭きます。
4. サイドレールコントロールパネルは完全に乾かしてください。

消毒

推奨される消毒剤：

- グリコール・エーテルを含有しない第四級物質（有効成分-塩化アンモニウム）
- 塩素系漂白剤溶液（5.25% - 水100に対して漂白剤1未満）
- 70%イソプロピルアルコール

適切な接触時間およびすぎの要件に関しては、消毒剤の取り扱い指示に必ず従ってください。

過度の浸漬は避け、正しい消毒に関する化学洗剤メーカーのガイドラインの規定を超える時間、製品を浸漬しないようにします。

製品を消毒する：

1. 消毒剤を使用する前に、製品を完全に洗浄して乾かします。
2. 推奨の消毒剤溶液を噴霧するか、消毒剤溶液をあらかじめ湿らせた布で塗布します。

注記 - 適切な接触時間およびすぎの要件に関しては、消毒剤の取り扱い指示に必ず従ってください。

3. 構造部を消毒するには、背もたれとレッグレストを一番高い高さまで持ち上げます。
4. 清潔な乾いた布で製品の表面および構造部を拭いて、余分な液体や洗浄剤を取り除いてください。
5. 使用を再開する前に、製品を完全に乾燥させます。

予防保守

少なくとも、Stryker Medicalの全製品については、年次予防保守を行う際、記載されている全項目を確認してください。製品の使用度によっては、予防保守点検をさらに頻繁に行う必要がある場合があります。

予防保守を行う前に、製品の使用を取り消します。予防保守は、訓練を受けた資格のある担当者が行うものとします。

以下の項目を点検します：

- _____ すべての溶接部およびすべてのファスナーに欠陥がない
- _____ チューブまたは金属薄板に折れ曲がりや破損がない
- _____ キャスターにごみがついていない
- _____ キャスターがしっかりと固定、回転する
- _____ ブレーキペダルを踏むとキャスターがしっかりとロックされる
- _____ ステアリングキャスターのロックがかかり、解除される
- _____ ステアリングペダルがラッチで固定される
- _____ 背もたれが作動する
- _____ ボトム昇降が作動する
- _____ トレンデレンブルグ位と、逆トレンデレンブルグ位が作動する
- _____ 点滴ポールに損傷がなく機能する（オプション）
- _____ 付属スリーブに損傷や亀裂がない
- _____ ベッド延長器が延びて固定できる（オプション）
- _____ ヘッドボード、フットボード、およびサイドレールパネルの亀裂や割れ
- _____ すべてのカバーに損傷がなく、鋭利な箇所がない
- _____ 放射線透過性の背もたれが清潔で、ひびが入っていない（オプション）
- _____ カセットホルダーが清潔で、ひびが入っていない（オプション）
- _____ ベッド下照明が点灯する
- _____ 心肺蘇生用リリースが作動する
- _____ サイドレールを動かすことができ、ラッチがかかり、格納できる
- _____ すべてのコントロールパネルの全機能
- _____ バッテリーの交換
- _____ バッテリー端子の腐食や亀裂、側面の拡大や膨らみ、あるいはフル充電を維持できない
- _____ 下脚部を動かすことができ、ラッチがかかり、格納できる
- _____ ペンダントに物理的な損傷がない
- _____ 電源コードに磨耗やほころびがない
- _____ ケーブルにも磨耗やつぶれた跡がない
- _____ 電気系統の接続がすべて良好である
- _____ アースがすべてフレームに接続されている
- _____ 接地インピーダンスを確認（ $\leq 0.2 \text{ Ohm}$ ）
- _____ リーク電流：正磁極、非接地、L2 アクティブ（ $\leq 300 \mu\text{A}$ ）
- _____ リーク電流：正磁極、非接地、L2 なし（ $\leq 600 \mu\text{A}$ ）
- _____ リーク電流：逆磁極、非接地、L2 アクティブ（ $\leq 300 \mu\text{A}$ ）
- _____ リーク電流：逆磁極、非接地、L2 なし（ $\leq 600 \mu\text{A}$ ）
- _____ 覆いに磨耗や裂け目、磨耗、機械的な損傷がない
- _____ 高電試験 1500 VAC（10 mA 以下のトリップ電流）

- _____ 部品に錆びや腐食がない
- _____ コントロールボックスに損傷や亀裂がない
- _____ アクチュエーターの機能性
- _____ ラベルが識別可能で、しっかりと貼り付いており、完全であること

製品シリアル番号 :
記入者 :
日付 :

EMCに関する情報

ガイドンスおよび製造業者による宣言-電磁工ミッション		
SV2システムは、次に指定した電磁環境内での使用を意図しています。SV2の顧客または使用者は、このような環境で用いていることを確認してください。		
エミッション試験	適合	電磁環境
RFエミッション CISPR 11	グループ1	SV2は、内部機能のためだけにRFエネルギーを使用しています。したがって、そのRFエミッションは非常に低く、近傍の電子機器に対して何らかの干渉を生じさせる可能性は少ないです。
RFエミッション CISPR 11	クラスA	SV2は、家庭用施設および家庭目的に使用される建物に電力を供給する公共の低電圧用の配電網に直接接続された施設以外の、すべての施設での使用に適しています。
高周波エミッション IEC 61000-3-2	クラスA	
電圧変動 フリッカエミッション IEC 61000-3-3	適合	
<p>注記：本装置は、そのエミッション特性のため、工場環境および病院での使用に適しています（CISPR 11 クラスA）。住宅環境（CISPR 11クラスBが通常必要とされる環境）で使用される場合、この機器は無線周波数通信サービスを適切に保護できないおそれがあります。ユーザーは、機器の再配置や方向変更などの緩和策を講じる必要があるかもしれません。</p>		

ガイドンスおよび製造業者による宣言-電磁イミュニティ			
SV2は、次に指定した電磁環境内での使用に適しています。SV2の顧客または使用者は、このような環境で用いていることを確認してください。			
イミュニティ試験	IEC 60601試験レベル	適合レベル	電磁環境ガイドンス
静電気放電(ESD) IEC 61000-4-2	±8 kV (接触放電) ±15 kV (気中放電)	±8 kV (接触放電) ±15 kV (気中放電)	床は、木材、コンクリートまたはセラミックタイルであること。床が合成材料で覆われている場合には、相対湿度は最低30%であること。
電氣的ファストトランジェント / バースト IEC 61000-4-4	±2 kV (電源ライン) ±1 kV 入出カライン	±2 kV (電源ライン) ±1 kV 入出カライン	主電源は、典型的な商用または病院環境のものであること。
サージ IEC 61000-4-5	±1 kV ライン-ライン間 ±2 kV ライン-接地間	±1 kV ライン-ライン間 ±2 kV ライン-接地間	主電源は、典型的な商用または病院環境のものであること。

ガイダンスおよび製造業者による宣言-電磁イミュニティ

<p>電源入カラインでの電圧 ディップ、電圧変動および 短時間停電</p> <p>IEC 61000-4-11</p>	<p>0% U_T、0.5サイクル間、 0°、45°、90°、135°、 180°、225°、270°および 315°</p> <p>0% U_T、1サイクル間</p> <p>70% U_T (30% U_Tのディッ プ)、25サイクル間</p> <p>0% U_T、250サイクル間</p>	<p>0% U_T、0.5サイクル間、 0°、45°、90°、135°、 180°、225°、270°および 315°</p> <p>0% U_T、1サイクル間</p> <p>70% U_T (30% U_Tのディッ プ)、25サイクル間</p> <p>0% U_T、250サイクル間</p>	<p>主電源は、典型的な商用ま たは病院環境のものである こと。SV2の使用者が停電 時の連続操作を必要とする 場合には、本機器の電源は 無停電電源または電池にす ることが推奨されます。</p>
<p>電源周波数磁界</p> <p>IEC 61000-4-8</p>	<p>30 A/m</p>	<p>30 A/m</p>	<p>電源周波数磁界は、典型的 な商用および/または病院環 境内の典型的な場所でのレ ベルにあること。</p>
<p>注記：U_Tは、試験レベルを適用する前の交流電源圧です。</p>			

ガイダンスおよび製造業者による宣言-電磁イミュニティ

SV2は、次に指定した電磁環境内での使用に適しています。SV2の顧客または使用者は、このような環境で用いていることを確認してください。

イミュニティ試験	IEC 60601試験レベル	適合レベル	電磁環境-ガイダンス
----------	----------------	-------	------------

<p>伝導</p> <p>RF</p> <p>IEC 61000-4-6</p> <p>放射RF</p> <p>IEC 61000-4-3</p>	<p>3 Vrms</p> <p>ISM周波数帯で6 Vrms</p> <p>150 kHz ~ 80 MHz</p> <p>3 V/m</p> <p>80 MHz ~ 2.7 GHz</p>	<p>3 Vrms</p> <p>ISM周波数帯で6 Vrms</p> <p>3 V/m</p>	<p>携帯型および移動型無線通信機器は、ケーブルを含むSV2のいかなる部分に対しても、送信機の周波数に適した方程式により計算された推奨分離距離より近づけて使用しないこと。</p> <p>推奨分離距離</p> <p>$D = (1.2) (\sqrt{P})$</p> <p>$D = (1.2) (\sqrt{P})$</p> <p>80 MHz ~ 800 MHz</p> <p>$D = (2.3) (\sqrt{P})$</p> <p>800 MHz ~ 2.7 GHz</p> <p>ここでPは、送信機製造者によるワット(W)で示した送信機の最大定格出力電力であり、dは、メートル(m)で示した推奨分離距離を指します。</p> <p>実使用環境の調査によって決定する固定RF送信機からの電磁界強度は^a各周波数範囲における適合レベルよりも低いこと。^b</p> <p>以下の記号が表示されている機器の近傍では、干渉が生じることがあります：</p> 
<p>注記 1 : 80 MHzおよび800 MHzでは、高い周波数域が適用されます。</p> <p>注記 2 : ここに示すガイドラインは、すべての状況で適用されるとは限りません。電磁伝搬は、建造物、物、人による吸収および反射に影響されます。</p> <p>注記 3 : 0.15 ~ 80 MHzのISM (産業、科学および医療) 周波数帯は、6.765 ~ 6.795 MHz、13.553 ~ 13.567 MHz、26.957 ~ 27.283 MHz、40.66 ~ 40.70 MHzです。</p> <p>注記 4 : 製品は、IEC 60601-1-2:2014の表9に基づくRF無線通信機器からの近接磁界に対するイミュニティに準拠しています。</p>			
<p>^a無線 (携帯 / コードレス) 電話や陸上移動無線、アマチュア無線、AM / FMラジオ放送、テレビ放送を始めとする基地局などの固定送信機の電界強度を、理論上正確に予測することは不可能です。固定された無線周波送信機による電磁環境を評価するには、電磁環境の実使用環境調査の実施を検討する必要があります。SV2の使用場所における電界強度の計測値が該当する無線周波数コンプライアンスレベルを超える場合には、SV2が正常に動作しているかどうかを確認してください。異常動作が確認された場合には、SV2システムの再設置または移動などの追加措置が必要になることもあります。</p> <p>^b 150 kHz ~ 80 MHzの周波数帯域において、電界強度は3 V/m未満とします。</p>			

表9 - RF無線通信機器に対する筐体ポートのイミュニティ試験仕様

試験周波数 (MHz)	周波数帯 ^{a)} (MHz)	サービス ^{a)}	変調 ^{b)}	最大電力 (W)	距離 (m)	イミュニティ試験レベル (V/m)
385	380 ~ 390	TETRA 400	パルス変調 ^{a)} 18 Hz	1.8	0.3	27
450	430 ~ 470	GMRS 460、 FRS 460	FM ^{c)} ± 5 kHzデビ エーション 1 kHz正弦	2	0.3	28
710	704 ~ 787	LTE周波数帯 13、 17	パルス変調 ^{b)} 217 Hz	0.2	0.3	9
745						
780						
810	800 ~ 960	GSM 800/ 900、 TETRA 800、 iDEN 820、 CDMA 850、 LTE周波数帯5	パルス変調 ^{b)} 18 Hz	2	0.3	28
870						
930						
1 720	1 700 ~ 1 990	GSM 1800、 CDMA 1900、 GSM 1900、 DECT; LTE周波数帯 1、3 4、25;UMTS	パルス変調 ^{b)} 217 Hz	2	0.3	28
1 845						
1 970						
2 450	2 400 ~ 2 570	Bluetooth、 WLAN、 802.11 b/g/n、 RFID 2450、 LTE周波数帯7	パルス変調 ^{b)} 217 Hz	2	0.3	28
5 240	5 100 ~ 5 800	WLAN 802.11 a/n	パルス変調 ^{b)} 217 Hz	0.2	0.3	9
5 500						
5 785						

携帯型および移動型無線通信機器とSV2の推奨分離距離

SV2は、放射RFの妨害が管理された電磁環境での使用を意図しています。SV2の顧客またはユーザーは、通信機器の最大出力に基づく次に推奨する携帯型および移動型無線通信機器(送信機)とSV2との最小距離を維持することによって、電磁妨害を防ぐのに役立ちます。

送信機の最大定格出力 W	送信機の周波数に基づく分離距離 m		
	150 kHz ~ 80 MHz D= (1.2) (√P)	80 MHz ~ 800 MHz D= (1.2) (√P)	800 MHz ~ 2.7 GHz D=(2.3) (√P)
0.01	1.12	0.12	0.23

携帯型および移動型無線通信機器とSV2の推奨分離距離

0.1	0.38	0.38	0.73
1	1.2	1.2	2.3
10	3.8	3.8	7.3
100	12	12	23

上記に記載していない最大定格出力電力の送信機に関して、メートル(m)で表示した推奨分離距離 d は、送信機の周波数に対応する方程式を用いて計算できます。ここで、 P とは、送信機の製造業者によるワット(W)で示した送信機の最大定格出力電力を意味します。

注記 1：80 MHzと800 MHzでは、高い方の周波数帯域での分離距離が適用されます。

注記 2：ここに示すガイドラインは、すべての状況で適用されるとは限りません。電磁伝搬は、建造物、物、人による吸収および反射に影響されます。



Stryker Medical
3800 E. Centre Avenue
Portage, MI 49002
USA



Stryker EMEA Supply Chain Services B. V.
Frans Maasweg 2
Venlo 5928 SB, The Netherlands